

習 慣

そこはもう腕 ちよつとたんで下さい

エー 正正正、正正正、正正正

ほと院明してあゝか とよび、てし

相手は日本人だ

年会二十五万ぐういの世陸

その人の生活はこうだ

つとめ安に 制服がある。 上着は巾着なく

ズボンもクツ下もクツも 仕事先はそわで

行くことが出来る

靴は革の下の下着は巾着を洗って平す

かわり足物はイスのそばに置く

昨日のちよく イスのそばに下着の

山 そこのから 必要なものをとりに出して着る

平す。 衣物の下に 夜にうを収納するのもは

そん

ときいた

夜にうをたなへに 二とはうい

たかう たたき、て ほどあか、 とやあやうだ

習慣は身にづく

あの人には

合年のセツ子だけが 高級レストラン並

テリブルをきくとおろ 食器の並べ方

ハジ スプーン などのおき方

本で教へ合年には どうしてもおいしいの

おいしさを通りこし 満足感にうつつりする

これも習慣のひとつ

外へ行ったらし 気をつかう はき方

いつでも 自分の習慣か出てしきり

毎日の生活がス印だ

自分はどうだろう

行動のあやうやうで

子[?] いいわかろふ 耳がよい 耳がよい

2022
10/23